

巻頭言

平成26年度 定期総会に向けて

一般社団法人 大阪府作業療法士会 会長 長辻 永喜
(藍野大学)

消費増税が始まりました。アベノミクス政策に陰りがみられています。大手企業の雇用者賃金が上がる方向で動いています。増税は社会福祉に還元されるといいますが、拡大を続ける高齢者医療費や介護保険費を賄いきれるかとも心配です。強すぎる自民党政権に委ねられた日本はどこに向かっているのでしょうか。高齢者医療費の据え置き、国民負担を強いる消費増税の進行が国民の生活を良くしてくれるのでしょうか。

世の中の喧騒とは無関係に、OTの求人はますます増えてきています。最近、OTが必要だという施設・病院が非常に増えています。大きな社会変革の中でもOTの職域はいまだに安泰です。しかしOTの有効性をはっきりと示し、リハビリテーションにおける職域をしっかりと確保しなければ、いつまでも求められるとは限りません。関連医療職の職域拡大も進んでいます。自分たちの職域を守るのはOT自身でしかありません。OTとしての役割を果たし国民から求められ、信頼される職種になることが重要です。

住み慣れた地域で、主体的な生活を送るための援助はOTが最も得意とする分野です。ADLもIADLもOTが中心になり対象者に喜んでもらえるサービスを提供し、作業療法士が必要とされる状況を作り出してください。QOLを高めるには是非OTが必要であると示してください。平成26年度は、①認知症初期集中支援チームの確立、②災害支援事業の構築(災害時リハビリテーション)、③生活行為向上マネジメントの普及、④福祉用具相談支援システムの効率的運用、⑤特別支援学校機能強化モデルの確立を主要課題と考えています。これらの地域生活

を基盤とした支援は、作業療法士が最も得意とする、どの職能よりもイニシアチブをとって働きかけができる分野です。そのためには日頃の学術研鑽・技術の向上なくしてはありえないことです。自分たちの職能の地盤を確立できるように、大阪府士会員一人ひとりのご協力をお願いいたします。

今回からは一般社団法人の認可を受けて、年1回の総会開催となります。事業報告・決算報告に加えて、事業計画・予算案も合わせてご審議いただきます。これまでの事業を受け継ぎ、さらなる向上を図れるように計画を作成しております。会員皆様のご審議をお願いいたします。また、平成26・27年度の役員選挙も行われます。是非、総会に参加頂き会員皆様のご意見を反映して頂ければと考えています。よろしくご協力お願いいたします。

平成26年度総会・役員選挙および
総会時研修のお知らせ

【日時】平成26年6月7日(土) 午後2時～午後5時30分

【会場】弁天町ORC200生涯学習センター
(平成26年5月1日オープン予定)

〒552-0007 大阪市港区弁天1-2-2-700(オーク2番街7階)

【交通案内】地下鉄中央線/JR環状線「弁天町駅」下車

- 【内容】 1) 総会時研修(午後2時～)
テーマ:「障がい者福祉の動向について」
講師:厚生労働省 社会・援護局 地域福祉課
自立支援専門調査員 高橋英之氏
- 2) 総会(午後4時～午後5時30分)
平成25年度事業報告ならびに決算について
平成26年度事業計画案ならびに予算案について
その他
- 3) 役員選挙

※詳細につきましては、会員の皆様に送付されます「総会議案書」をご確認下さい。
※なお、出席・欠席に関わらず、議案書に同封されます「委任状」を必ず提出して下さい。